

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン登録団体 各位

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジンをお送りしますので、ご覧ください。

なお、配信方法をE-mailに転換していきたいと思っておりますので、ecomomail@ecomomail.or.jpまでお知らせ頂ければと思います。

また、配信の停止等に関しましては、ecomomail@ecomomail.or.jpもしくは、FAX(03-3221-6674)までお知らせ頂ければと思います。

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジン VOL61

2007年12月25日



バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い冊子配布について

ネットワーク参加団体からのお知らせ

「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー in 中四国」冊子配布について

第20回移送サービス研究協議会

全国車いす宿泊ガイド(社団法人全国脊髄損傷者連合会)

エコモからのお知らせ

アクセシブルデザインフォーラム開催のお知らせ

「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」、「公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン」、「旅客船バリアフリーガイドライン」の発行について

高齢者・障害者等の公共交通機関不便さデータベース

らくらくおでかけネット

小中学生の総合学習、修学旅行等の受け入れのご案内

バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

行政からのお知らせ

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)

ニュース

各種催し物のお知らせ

コラム

バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い冊子配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(第2回、第3回、第5回)をご希望の方にお送ります。ご連絡ください。

FAX: 03-3221-6674 E-mail: ecomomail@ecomomail.or.jp

ネットワーク参加団体からのお知らせ

「市民と進める福祉の交通まちづくりセミナー in 中四国」冊子配布について

10月31日に開催されましたセミナーの当日配付資料(第2回、第3回、第5回)をご希望の方にお送ります。

ご連絡ください。 FAX: 03-3221-6674 E-mail: ecomomail@ecomomail.or.jp

第20回移送サービス研究協議会

日付 2008年3月9日(日) 8日(土)にも併催企画実施

会場 東京ボランティア・市民活動センター 会議室 他

問合せ先 東京ハンディキャップ連絡会 TEL&FAX 03-3222-8915

全国車いす宿泊ガイド

社団法人全国脊髄損傷者連合会では、本年6月から車いすを利用する障害者と高齢者のための施設情報を掲載している「全国車いす宿泊ガイド」の運用を開始しました。詳細は <http://www.raqoo.jp/sij/>

エコモからのお知らせ

アクセシブルデザインフォーラム開催のお知らせ

日本の高齢者・障害のある人達への配慮施策の現状と今後～新しい日本社会のあるべき姿～

21世紀に入り、日本をはじめ多くの国で、高齢社会への進展が大きな社会課題となってきています。これまでは、ある特定の利用者を想定し、その人達向けの限られた製品やサービスの開発を行うことにより、様々な技術や産業の発展が促されてきました。しかし、来るべき超高齢社会では「より多くの人々に利用可能とすること:アクセシブルデザイン」が時代を支える新しいキーワードとなります。

高齢者や障害のある人達を含めたより多くの人々が、それぞれの立場や状況に応じて、使いやすいように配慮された製品やサービス、生活環境の実現が求められることとなります。そこで、様々な関係者が、高齢者・障害のある人達を配慮した社会の実現に向け、適切な情報交換や課題の共有化、共同研究、ルール作りなどを行う場として、「アクセシブルデザイン」シンポジウム2008を開催します。

今回は、2006年12月に国際連合で採択された「障害者権利条約」、2007年に作成されたバリアフリー新法に伴う「ガイドライン」、日本提案で進んでいる国際標準化機構(ISO)のアクセシブルデザイン(AD)標準化に関する最新の動きと、消費者の立場からのADについて、4名の講師をお招きし、お話をうかがいます。

みなさまの、ご来場を心よりお待ちしております。

日時:平成20年1月30日(水) 14:00～17:30

場所:経済産業省別館10階 1028号会議室 東京都千代田区霞が関1-3-1

定員:130名(定員になり次第 締め切らせて頂きます)

参加費:無料

主催:経済産業省、アクセシブルデザイン推進協議会

共催:財団法人家電製品協会、財団法人共用品推進機構、財団法人ベターリビング、財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、独立行政法人製品評価技術基盤機構、財団法人テクノエイド協会、財団法人日本規格協会、日本福祉用具・生活支援用具協会 (順不同)

<プログラム>

14:00～14:10 開会挨拶 防衛医科大学校教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

14:10～14:50 セッション1 国連採択の「障害者権利条約」について(仮題)

日本障害者リハビリテーション協会 副会長 松井 亮輔氏

14:50～15:30 セッション2 ～新バリアフリー法のガイドラインについて～(仮題) 首都大学東京 教授 秋山哲男氏

15:30～15:45 休憩

15:45～16:15 セッション3 消費者の立場からのアクセシブルデザイン、ISOに参加して

ISO/TC122WG9(新設予定) エキスパート/株式会社 タカラトミー 高橋玲子氏

16:15～16:55 セッション4 アクセシブルデザインの日本の政策と国際標準化(仮題)

経済産業省 標準化推進室 室長 相澤幸一氏

16:55～17:20 まとめ 防衛医科大学校教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

17:20～17:30 開会挨拶

お申込み先及びお問合せ先 <ADC シンポジウム 事務局>

財団法人共用品推進機構内 担当 星川安之、森川美和、松井亨倫

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2の5の4 OGAビル2階 TEL:(03)5770-1596 FAX:(03)5770-1592

「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」、「公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン」、「旅客船バリアフリーガイドライン」の発行について平成18年12月にバリアフリー新法(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)が施行されたことを受け、公共交通機関の旅客施設・車両等の望ましい整備内容等を示すガイドライン及び旅客船に関するガイドラインが策定されました。

詳細はこちらから http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/h18guideline/guideline/guideline_index.htm

http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/h18guideline/guideline/guideline_fune_index.htm

高齢者・障害者等の公共交通機関不便さデータベース

平成5年10月から平成18年3月までに各関係機関で実施された、障害者や高齢者等の駅、公共交通機関の利用状況についてまとめた調査報告書の内容を整理し、駅や交通機関(鉄道・バス)の利用者が実際に感じている不便さや利便さ等の意見を抽出し、データベース化いたしました。

詳細はこちらから http://www.ecomo.or.jp/barier_free/fubensa/index.html

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 4,072 駅、空港 85、バス 158、旅客船 411 ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約 3,000 件です。リンクご希望の方はご連絡ください。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版)<http://www.ecomo-rakuraku.jp/>

(携帯版)<http://www.ecomo-rakuraku.jp/rakuraku/mobile/>

小中学生の総合学習、修学旅行等の受け入れのご案内

毎年、総合学習や修学旅行等でバリアフリー等について学びにこられる学校の関係者の方へのご案内ページを新たに作成しました。講習の他に、車いす体験や高齢者疑似体験等、ご希望に沿った内容で実施しています。

詳細は http://www.ecomo.or.jp/barier_free/gakusei/gakuseiukeire_index.htm

バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。ホームページにて公開しています。是非ご利用ください。 http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組みされる時のために提供しています。実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。なお、本マニュアルを利用して、駅等の評価を行われましたら、是非とも当財団まで結果をお送りくださいますようお願い致します。

行政からのお知らせ

交通バリアフリー法、バリアフリー新法移動円滑化基本構想策定状況(平成19年5月まで)
基本構想を作成済みの市区町村 225 市町村(273 基本構想)

詳細は <http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/basicplan/jyurijyoukyou1709.pdf>

ニュース

12月12日から小田急電鉄で新サービス開始

IC乗車券「PASMO」を使用した自動改札機通過情報配信サービス、「小田急あんしんゲートパスIC」が開始します。

詳細は http://www.odakyu.jp/program/info/data.info/3236_2745204_.pdf

12月15日から横浜市営地下鉄ワンマン運転開始

可動式ホーム柵の設置が完了し、ワンマン運転が開始しました。

詳細は <http://www.city.yokohama.jp/me/koutuu/info/news/2007/20071210.html>

12月17日京急電鉄では資格取得表示開始

京急電鉄では、普通救命講習修了者等が一目でわかるように資格取得表示を開始しました。

詳細は http://www.keikyu.co.jp/corporate/press/mk_auto/20071217.shtml

12月19日からJR北海道にAED設置

JR北海道では新たに6駅についてAEDが設置されました。詳細は <http://www.jrhokkaido.co.jp/press/2007/071217-1.pdf>

12月25日から東急に新型車両導入

東急では池上線・東急多摩川線に、新型車両「7000系」を導入します。

詳細は http://www.tokyu.co.jp/contents_index/guide/pdf/071213-2.pdf

12月から西武鉄道でSOSシール貼付

車内における「非常通報装置」設置箇所を、よりわかりやすくするために「SOSシール」を貼付しました。

詳細は <http://www.seibu-group.co.jp/railways/kouhou/news/2007/1210.4.pdf>

12月中旬頃からJR東日本でホーム駅名標等整備

JR東日本仙台支社では、仙台・宮城ですデイナーションキャンペーン(DC)に向けて、DCエリア内にある132駅のホーム柱用

駅名標と観光地の入り口等になっている 29 駅のホーム駅名標が整備されることとなりました。なお、2007 年度のホーム柱用駅名標設置予定駅は、仙台線沿線 15 駅、ホーム駅名標は仙山線愛子駅、作並駅、奥新川駅、面白山高原駅、山寺駅の 5 駅となっています。

12 月末ごろから、JR 東日本に新型車両導入

京浜東北線では、優先席エリアの色分け、ホームとの段差の縮小、液晶画面の拡大など、バリアフリーに配慮した新型車両導入が導入されます。

2008 年 1 月京都市営地下鉄に新駅開業予定

地下鉄東西線に西大路御池、太秦天神川が開業します。詳細は <http://www.city.kyoto.jp/kotsu/news/2007/2007042.htm>

2008 年 3 月 1 日から JR 東海 TOICA 範囲が拡大

TOICA の利用範囲が静岡地区に広がります。詳細は <http://jr-central.co.jp/co.nsf/news/nws20071217-11544>

2008 年 3 月から JR 東日本で新サービス開始

JR 東日本では、モバイル Suica 特急券サービスを開始します。詳細は http://www.jreast.co.jp/press/2007_2/20071201.pdf

2008 年 3 月、京王線キッズプラッツ多摩川が開設

子育て支援事業の取り組みの具体的な事業のひとつとして、京王多摩川駅近くに保育所が開設されます。

詳細は <http://www.keio.co.jp/news/nr070927v02/index.html>

2008 年 3 月 15 日から小田急・メトロ直通開始

小田急ロマンスカーが直通運転を開始します。なお、車内には AED が設置されます。

詳細は http://www.odakyu.jp/program/info/data.info/3274_7703230_.pdf

2008 年 3 月 30 日都営日暮里・舎人ライナー開通予定

東京都交通局では日暮里・舎人ライナー(日暮里駅～見代台親水公園駅)が開通されることになりました。

詳細は http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/nippori_toneri/cheer/index.html

2008 年に京阪 3 駅の駅名変更

京都市内の京阪線 3 駅の駅名が変更します。「丸太町 神宮丸太町」「四条 祇園四条」「五条 清水五条」

詳細は http://www.keihan.co.jp/news/data_h19/2007-11-06-01.pdf

2008 年春、JR 西日本に新線開業

来春、大阪外環状線に新たに「おおさか東線」が開業し、新駅 5 駅(高井田中央、JR 河内永和、JR 俊徳道、JR 長瀬、新加美)と決定しました。詳細は http://www.westjr.co.jp/news/newslst/article/1173226_799.html

2008 年 6 月から東武鉄道にライナー登場

東武東上線に、座席定員制の新型ライナーが登場します。詳細は <http://www.tobu.co.jp/news/2007/11/071121.pdf>

2009 年から千葉都市モノレールに新型車両導入予定

詳細は <http://www.chiba-monorail.co.jp/uf-otype/urban-flyer.html>

2009 年 3 月パスネット終了

PASMO の普及に伴い、パスネットの自動改札機対応が終了します。

JR 九州 IC カードの名称が決定

2009 年に使用開始予定の IC カードのキャラクターと名称が決定しました。名称は SUGOCA。

詳細は <http://www13.jrkyushu.co.jp/newsreleaseweb.nsf/9dd28b8cb8f46cee49256a7d0030d2e6/4911c0325b15fb48492573830057eb7a?OpenDocument>

各種催し物のお知らせ

まちづくりと交通政策の実践的アプローチ 持続可能なまちづくりと公共交通の活性化・再生を目指して

日時: 2008 年 1 月 28 日 / 場所: エルおおさか

介護フェア 2008

日時: 2008 年 1 月 30 日 / 場所: グランドヒル市ヶ谷

シニアライフエキスポ 2008 <http://www.seniorexpo.jp/>

日時: 2008 年 2 月 27 ~ 29 日 / 場所: 東京ビックサイト

バリアフリー 2008 <http://barrierfree.jp/>

日時: 2008 年 4 月 25 ~ 27 日 / 場所: インテックス大阪

第 11 回国際福祉健康産業展 <http://www.nagoya-trade-expo.jp/welfare/>

日時: 2008 年 6 月 6 ~ 8 日 / 場所: ポートメッセなごや

コラム

「バリアフリー化が進む。」

名古屋に住む電動車いす利用者の方からの意見です。一部を紹介します。「僕が住んでいる名鉄岐阜駅が、7月に新しくなりました。エレベーターが改札～地上まで計4基になり、車いす利用者対応トイレが設けられました。車両とホームがほぼフラットで僕の電動車いすならば、駅員の手助けを借りなくても乗ることができます。

以前から複数の人たちの情報を元にして、最近バリアフリー化された駅や高架化された駅を回ってみました。この結果、どの駅も、エレベーター・多目的トイレはもちろん、車両とホームがほぼフラットで、車いす利用者にとっては、駅員の手を借りずに一人で行けたのです。このことは本来「当たり前」であるが、僕は感動を覚えました。また、福岡の地下鉄七隈線やおおなみ線など新しくできた路線は車いす使用者が駅員の手を借りなくても乗降りできる路線が多くなっています。

5年前まで車いす使用者が相次いで乗車拒否に遭っていた名鉄だとは思えない、「日本一」と言っているくらいバリアフリー化に努力していると僕は感じています。」

との意見でした。大変嬉しい話ですね。

【Information】

記事募集中!! : ecomomail@ecomomail.or.jp

配信先変更・停止、ご意見・ご感想 : ecomomail@ecomomail.or.jp

交通バリアフリー推進ネットワークメールマガジンはバリアフリー推進ネットワークの著作物です。転送・転載する際は、必ず事前にご連絡ください。 : ecomomail@ecomomail.or.jp

編集後記

今年も最後のメールマガジンとなりました。一年があっという間に過ぎていきます。

清水寺の今年の一文字は「偽」だそうで、食品問題、年金問題、防衛省と何を信じればいいのかという事が多かったように感じます。相田みつをさん曰く、人の為と書いて偽。人の為と考えるならば・・・どうしてこういう問題が起こるのか悲しい思いです。

今年も一年間ご購入頂きましてありがとうございました。来年が皆様にとって素晴らしい一年になりますように。。。

MERRY CHRISTMAS! & A HAPPY NEW YEAR!



バリアフリー推進ネットワーク事務局（交通エコロジー・モビリティ財団）

E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp

URL : http://www.ecomomail.or.jp/itamimail/itamimail_index.html
